～市長が語る～「わがまちの今・これから」主な質疑応答の要旨

日　時：平成３０年５月１３日（日）１０：００～１１：２５
場　所：根形公民館　２階視聴覚室
出席者：市長、企画財政部長、企画課長、財政課長、秘書広報課長　他
参加者：１５名（男性１５名）

【市長説明項目】
第１部　わがまちの「今」
第２部　わがまちの「これから」

【主な質疑応答の要旨】
参加者：全国的な人口減少社会が懸念される中、今後の具体的な対策は何かありますか。

市長：市では、今後の人口問題に対応していくため、５年間の具体的な施策を掲げ展開してきました。出生数が死亡者数を上回る自然増となるといいのですが、少子化のため、出生率は上がりません。人口は出生率が２．０８以上にならないと増えませんが、県下一位の木更津市でさえ１．６に届かない状況です。一方、死亡者は増えるので自然減となってしまいますが、引き続き子育て施策を進めていきます。

社会増には土地の供給が必要になります。袖ケ浦市では、土地の供給が十分にできませんでした。今まではミニ開発などで対応してきましたが、海側地区が開発され売れています。都市マスタープランや市街化区域の見直しの検討をするなど、より一層、土地の供給ができるようにしたいと考えています。

のぞみ野や長浦地区では既存の住宅の高齢化が進み、一人世帯や二人世帯、空き家が増えてきましたので、この問題に対する備えもきめ細かくしていきたいと考えています。

雇用の場の確立も必要なことから、椎の森工業団地に雇用の多い企業を誘致したの

で、今後の雇用の創設に希望が持てます。また、東京や横浜などの市外での勤務地に行くケースを想定し、高速バスや電車など通勤面でも便利になるよう対応していきます。

内陸部についても、交通の便をよくするため、路線等についてバス会社にアプローチをしていきます。